

クラス番号	224	ゼミタイプ	サービスラーニング型 (NPO 型)
		担当教員名	大林 由美子
テーマ	子どもを主人公にした地域づくりについて、地域活動を通して学ぶ		

ゼミナール概要

<担当教員の自己紹介>

私が福祉に興味を持ったのは、大人になってからでした。我が子を目の前にした時、この養育を将来の仕事にしたいと考えるようになり、子どもをおんぶしながら保育士の勉強をはじめました。託児・宅老所（当時はそのように表現されていました）で働きはじめましたが、高齢者支援や地域づくりに魅力を感じ、高齢者分野を中心にソーシャルワーク実践をしてきました。現在も「住民主体の地域づくり」や「認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けるための地域づくり」に興味関心を持ち、研究・実践をしています。

<目的・内容・方法>

知多半島には、多くの NPO があります。NPO は、地域のなかの課題に気づき、活動をとおして課題を解決していく等、地域住民として何ができるかを考え、使命（ミッション）を持ち立ち上がった団体です。

本ゼミでは、知多半島の NPO 団体の地域貢献活動に参加させていただくことにより、課題解決をしている実践に関わることができます。活動に参加し、子どもを取り巻く環境や地域について知り、地域で今何が求められているのか、専門職になりゆくものとして「地域住民の一人として何ができるか」を考えましょう。「つながる・つなぐ力」「関係を形成する力」「地域の課題を把握する力」「地域に働きかける力」「人々とともに課題を解決する力」他、多くの実践力を身につけることができるのではと考えています。

【学習計画】

- 4・5月 地域ニーズの把握、活動先 NPO の活動内容の理解
- 6・7月 地域貢献活動の企画（自分たちに何ができるかを考え、計画を立てる）
- 8・9月 地域貢献活動（5日間）
- 10月 活動報告会
- 11・12月 地域課題研究
- 12月 活動発表会

担当教員からのメッセージ

地域の中には困っていても「助けて」と言えず、あるいは、どうすればよいのかわからず、今もお苦しんでいる人がいると思います。特に、幼い子どもは、そのすべを知りません。また、核家族化が進み、親も孤独のなかで育児をしています。地域のなかでお互いが気にかけて、助けが必要な人を見逃さないような「つながり」や「場」が多くあれば、SOS の声は届くのではないかと考えています。

現在、大規模団地での多文化・多世代交流カフェサロンに関わっています。地域住民の方々が主体となり、サロンを拠点として課題解決を図っています。ここでのキーパーソンは外国の子どもたちです。子どもたちがカフェでのお手伝いを通して、日本のルールや文化を地域住民から学んでいます。そして、子どもたちが日本の大人・子どもと顔なじみの関係をつくり、親へとつないでいます。コロナ禍でサロンは1年半近く開催できていませんが、別の形での支え合いがひろがっています。

地域から学び、誰もが安心して暮らすことができる地域社会について、一緒に考えていきましょう。